

鵺 沼

はまゆうと桜貝と

海光るわが故里

第 31 号

1986年5月

鵺沼を語る会

(鳩沼を語る会)

とき・

・5月13日(少)・9時公民館集合・出発します。

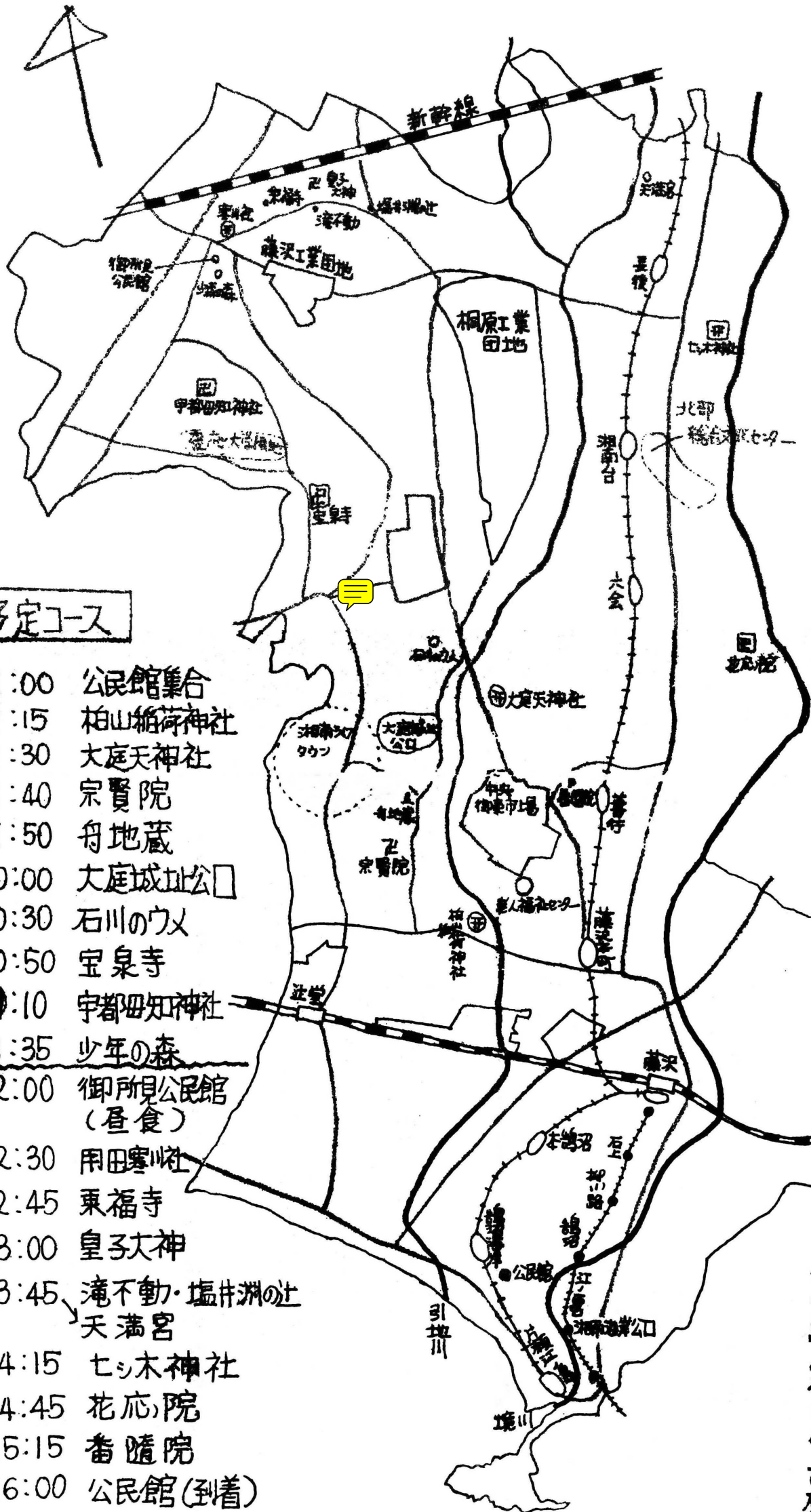
5月例会・市内北部寺社見学

マイクロバス

・持ってくるもの

(弁当・手ぬぐい・筆記用具)
その他各自必要なもの

◎アクシデント、けが等があった場合
各自負担となりますので
その点、よろしくお願いします



予定コース

- 9:00 公民館集合
- 9:15 柏山稲荷神社
- 9:30 大庭天神社
- 9:40 宗賢院
- 9:50 舟地蔵
- 10:00 大庭城址公園
- 10:30 石川のウメ
- 10:50 宝泉寺
- 11:10 宇都田神社
- 11:35 少年の森
- 12:00 御所見公民館
(昼食)
- 12:30 用田寒川
- 12:45 東福寺
- 13:00 皇子大神
- 13:45 滝不動・塩井洲の辻
天満宮
- 14:15 セシ木神社
- 14:45 花応院
- 15:15 番随院
- 16:00 公民館(到着)

飼 沼 を 詣 る 会 ・ 五 月 例 会
市 内 北 部 寺 社 見 学 会 御 案 内

柏山稲荷神社

城南三一六―二

明治小学校の東約二〇〇メートル

祭神宇迦之魂命、境内社嚴島千人力弁天社、創立保元三年（一一五八）、例祭日四月第二日曜日、大庭城主大庭景親が城の護りのために引地川を堰止め水門をつくり、その水門の護り神として勧請した。境内池の中にある嚴島千人力弁天社が、昔水門のあった所と言われている。昭和一〇年、県下名勝史蹟四十五佳選に選ばれた。

大庭神社

稲荷九九一

バス停天神社前より南東約四〇〇メートル

祭神神皇產靈神、配祀神（同村内の小祠を本社に合祀した場合、本社の主祭神に対して小祠の祭神を配祀神と呼ぶ）Ⅱ菅原道真公、大庭三郎景親公、境内社境内招魂祠、例祭日九月一三日、大庭・稲荷両村の鎮守である。天明三年（一七八三）より菅原道真もまつられていることから天神社とも呼ばれる。また大庭三郎景親は安永六年（一七七七）よりまつられている。大庭神社は延喜式内相模国一三座に名をつらねる古社であるが、現在地とは別の場所にあった。

幡龍山 宗賢院（曹洞宗）

大庭八一九

藤沢厚木線藤沢中央卸売市場入口近く

本尊釈迦如来、開山虛堂玄白、創立永正二年（一五〇五）、以前は末寺一七か寺を数える大寺院であった。慶安二年（一六四九）に朱印地一〇石を賜わる。明暦年間（一六五五―五八）火難にあい堂宇焼失、そのため宗雪により中興される。

舟地藏の伝説

扇谷上杉氏の居城であった大庭城が、永正九年に北条早雲によって落城されたとき、それをめぐる伝説として、つぎのような話が伝えられている。

大庭城址に正面から登るところに、舟地藏というバスの停留所がある。ここに右手に数珠、左手に宝珠をもった地藏尊像が、舟に乗った姿で安置されている。この舟地藏についての伝説がそれである。

永正九年北条早雲が扇谷上杉氏の守る大庭城を攻めたとき、いま水田となっている大庭耕地は一面の沼であった。そのため城を攻めることができず、いたずらに日を過ごしていた。



大庭台に残る舟地藏

あるとき、付近の稲荷というところで、ボタ餅を売っていた老婆に、武将の一人がどうしたら

よいかとたずねたところ、「わけはありません。堤を切れば沼の水は干上ります」と、いとも簡単に答えた。武将はハタとひざをうち、喜んだ。この大事がもれてはならないとして、部将は一刀のもとに老婆を切り捨ててしまった。やがて堤は切られ、沼の水は引き、北条勢は正面からこれを攻めて、なんなく城を落とすことができた。

「石川のウメ」は高さ約八・五尺、樹令約三〇〇年の巨木で、梅の実も大きく多量に実る。樹形・花のつき方も非常に美しい。

玉雄山 宝泉寺 (曹洞宗)

遠藤六〇九四

バス停前より南東へ約三八〇メートル

本尊釈迦如来、開山如幻宗悟、開基小田原北条氏臣の仙波土佐守、創立は永正年間（一五〇四～二一）頃、天正
 一九年（一五九一）二一石の朱印地を賜わる。寺には寛永三年（一六二六）製作の雲板（市指定文化財）・寛文八
 年（一六六八）寄進の華鬘・全国的にも作例としては少ないであろう銅
 製の三十三観音（全存）等がある。境内には閻魔堂・金比羅堂がある。

遠藤宝泉寺雲板

雲板とは、もとは中国の楽器であるが、わが国へは鎌倉時代に入り、寺の庫裡などに掲げて食事などの時刻を知
 らせるために打ちたたくものとして使用された。銅あるいは鉄でできており、形状が板状の雲形であることからそ
 の名を得ている。

この雲板には次のような銘が刻まれている。

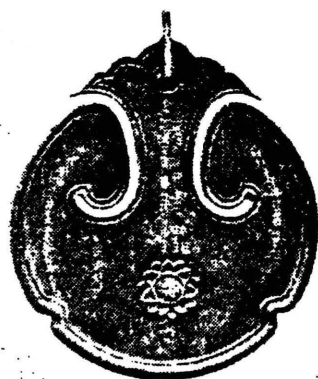
相州遠藤村玉雄山芳泉禪寺

常住物

先打飯破付當寺七世悦堂代修造之者

荻野郷

寛永三年^(一六二六)丙寅^(寅)以月六日大工木村長拾郎吉次



雲板（宝泉寺）

「遠藤宝泉寺のヤマザクラ」は高さ約一三・三メートル、幹の周囲約三メートルで樹令約一七〇年、当寺二五代圓明和尚の晋
 山式（住職就任式）の時に植えられたものと伝える。

宇都母知神社

祭神天照大御神・稚産靈神・若日下部命（雄略天皇の皇后）、

境内社稲荷神社・菅原神社、例祭日九月一日、延喜式の神名帳相模国一三座中にその社名があり、その記載選定作業のなされた九世紀末頃にはすでに当社はあったと思われる。正応三年（一二九〇）北条貞時が社殿を改修、寛永四年（一六二七）領主高木主水は社地九百坪を寄進、本殿を改築した。大正大地震で社殿全潰したが、大正一五年復旧した。昭和五〇年、天皇即位五〇年を記念して鎮の再建をおこなった。

寒川社

祭神菅田別命、

境内社八雲社、創立天正二年（一五七四）、例祭日一〇月二日、用田地区の鎮守である。伊豆河津庄の領主伊東氏の子孫といわれる伊東孫右衛門の勧請という。旧神体は五輪の石塔。『御所見小史』では天照大神・八幡妙見稲荷・宇賀神を配祀するという。現在かかる梵鐘は昭和二五年に鑄造されたものである。

打戻二六六二

バス停榎戸の東約五〇〇メートル



宇都母知神社

用田七三九

バス停用田車庫より南東へ約二〇〇メートル

万年山 昌寿院 乗福寺 (曹洞宗)

葛原一一九四

バス停天沼入口より南西へ約二五〇メートル

本尊釈迦如来、開山朝岩尊鳳、開基垂木御所、創立は長元年間(一〇二八〜三七)頃、以前は真言宗の寺であったが、遠藤宝泉寺六世朝岩による再興の時から曹洞宗となった。明治・大正期に二度の火難にあったため、寺の由緒を伝えるものは享保一〇年(一七二五)に当時の住職により書かれた乗福寺縁起のみが現存する。

皇子大神

葛原一三八二

バス停宮下の西側

祭神葛原親王、例祭日九月一八日、葛原地区の鎮守である。以前皇子大権現と称していたが、明治二年に改称した。明治初めの神仏分離までは長盛寺(明治一二年に廃寺となる。現在不動堂の名でその寺跡を残す。)の所轄であった。本殿は文化一三年(一八一六)、拝殿は明治五年にそれぞれ改築された。

天満宮

長後一四一二

長後駅より小田急線沿いに高座渋谷方向約八百メートル、線路の西約百メートル

祭神菅原道真公、天照大神、大山咋命、境内社八坂神社、例祭日九月二五日、長後地区の鎮守である。平安時代末頃、渋谷庄司重国の祖父秩父六郎基家は秩父よりこの地に移り築城した。その城中に守護神として勧請されたのを初めとする。そのご幾度かの戦乱のため社殿は廃頽したが、江戸時代当地を知行した旗本朝岡氏により寛延三年(一七五〇)社殿が再建され、大正八年には拝殿が新築された。昭和五六年本殿・拝殿とも銅板屋根に改修された。

七ツ木神社

高倉一二二八

高倉中学校の南側

祭神 源義朝公、境内社稻荷社、例祭日一〇月三日、旧七ツ木村（明治初年千束村と合併し高倉村となる）の鎮守である。古くは鯖明神社と呼ばれていたが、明治初年に七ツ木神社となった。文禄年中（一五九二～九六）に

西嶺山 花応院（曹洞宗）

西俣野八六六

葛蒲沢戸塚線バス停西俣野より南へ約二〇〇メートル

本尊聖観音、開山国境、開基祖桂、創立は慶長年間（一五九六～一六一五）頃、江戸時代、近くに閻魔堂えんまどうがあり天保（一八三〇～四四）の頃火災にあった。そのためその閻魔王像が花応院に運びこまれ、それが現存する木造彩色の閻魔王像といわれる。市指定文化財の石造閻魔王像も安置する。

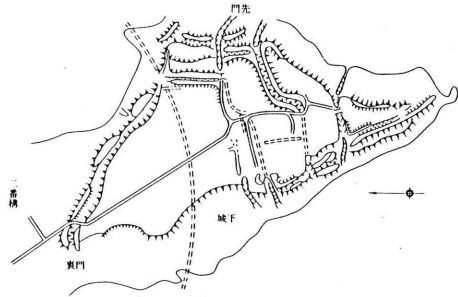
歴史

この地大庭城山は、古くは縄文時代、弥生時代、古墳時代から奈良、平安時代においても、人々の生活舞台となってきました。

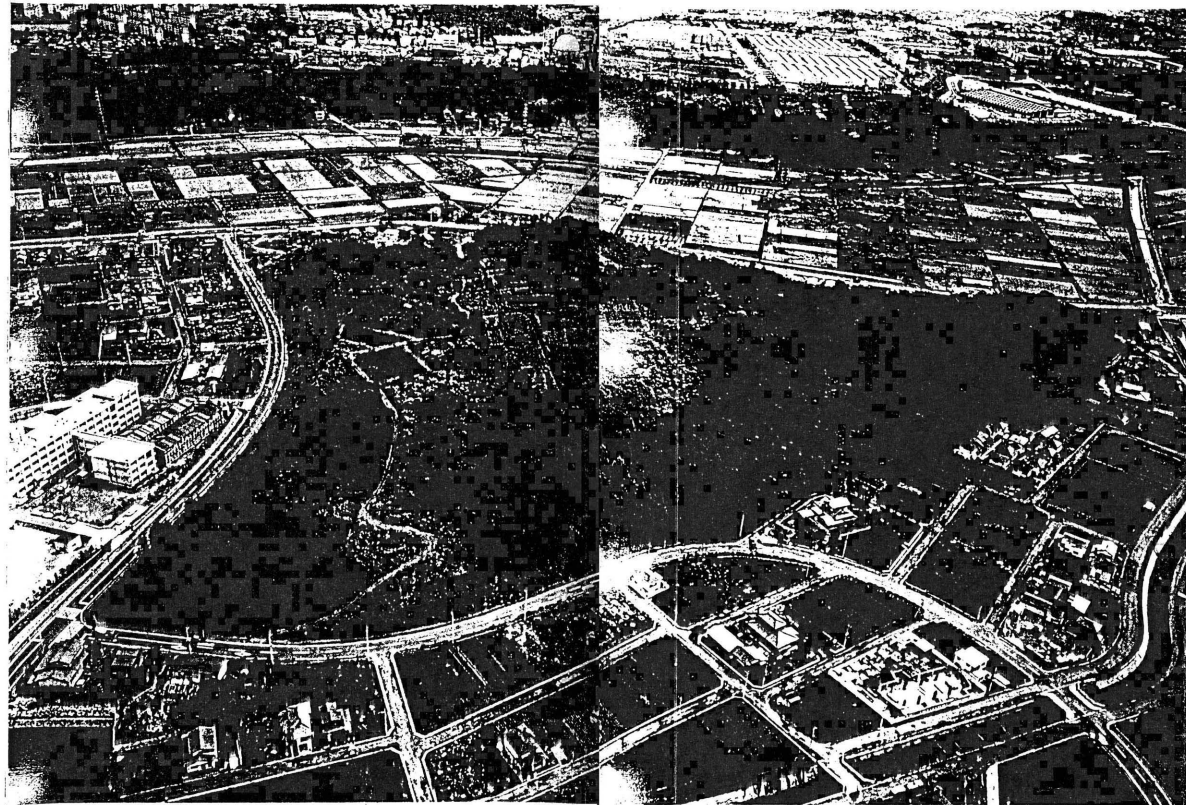
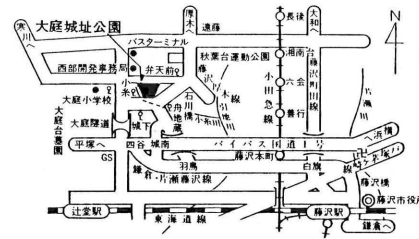
平安時代の末期（12世紀末）には、大庭城は、大庭氏を本拠としておこった関東平氏の雄、大庭氏の拠であったと伝えられますが、明らかな記録はなく、室町時代中頃（15世紀後半）になって、扇谷上杉定正の執事太田道灌が本格的な築城を行ったとされています。

その後、上杉朝長が滅ぼされ、この地は北条早雲の支配下に置かれ、引きつづき小田原北条氏に受けつがれますが、やがて豊臣秀吉に滅ぼされ、廃城となったようです。

現在残されている城址の構えは、小田原北条時代の改修によるものと考えられ、雄大でかつ綿密に設計されていたことは、築山、裏門、二番構、駒寄などの地名からもしのばれます。



藤沢市大庭城址公園案内図



- 交通の便
- 辻堂駅北口から……湘南ライフタウン行「大庭小学校前」下車徒歩5分
 - 藤沢駅北口から……湘南ライフタウン行「城下」下車徒歩5分
- 石川橋経由 六地藏 本厚木駅 湘南台 用田車庫行「弁天前」下車徒歩5分
いずれも神奈川中央交通バス

藤沢市役所・公園課 TEL 0466(25)1111

大庭城址公園

ごあいさつ

樹々の間からこぼれる春の光、小鳥のさえずりが心地よく響く森、落ち葉をふむとさくさくと音がする雑木林、緑は私たちに、潤いと安らぎを届けてくれます。



開発が進んだ今、そのような緑は失われつつありますが、ここ大庭の地に『歴史文化と自然とのふれあい』をテーマに、昭和58年度より整備を図ってまいりました大庭城址公園が完成し、めでたく開園のはこびとなりましたことは、まことに意義深いことです。これも、市民の皆様をはじめ関係各位の方々のご理解とご協力のたまものと、心より感謝申し上げます。

この大庭は、平安末期の武将大庭氏の拠点であった地であり、さかのぼれば、縄文・弥生時代から人々の生活舞台でありました。又周囲は、照葉樹林の豊かな自然植生をとどめ、学術上貴重などころとなっております。そのため、旧城址等の歴史的遺産の保全と自然保護の見地から、又、市民の方々のご意見も参考にしながら、公園を造り上げてまいりました。

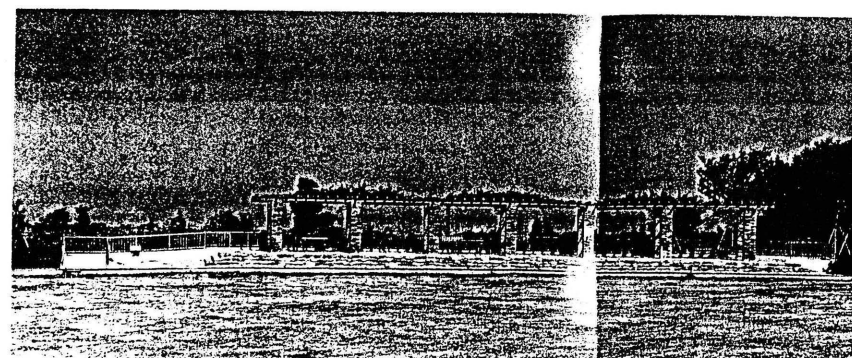
この公園が、今後、市民の皆様にあわれ、緑あふれる中で、歴史と文化に親しむことのできるふれあいの場として、十分に利用されることを心から願っております。

昭和60年4月11日

藤沢市長 葉山 峻

藤沢市





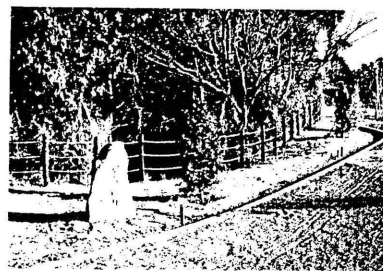
城郭をイメージした大バーグラ



石畳の坂道



休憩所からみた大芝生広場



からほり



チビツ子冒険広場

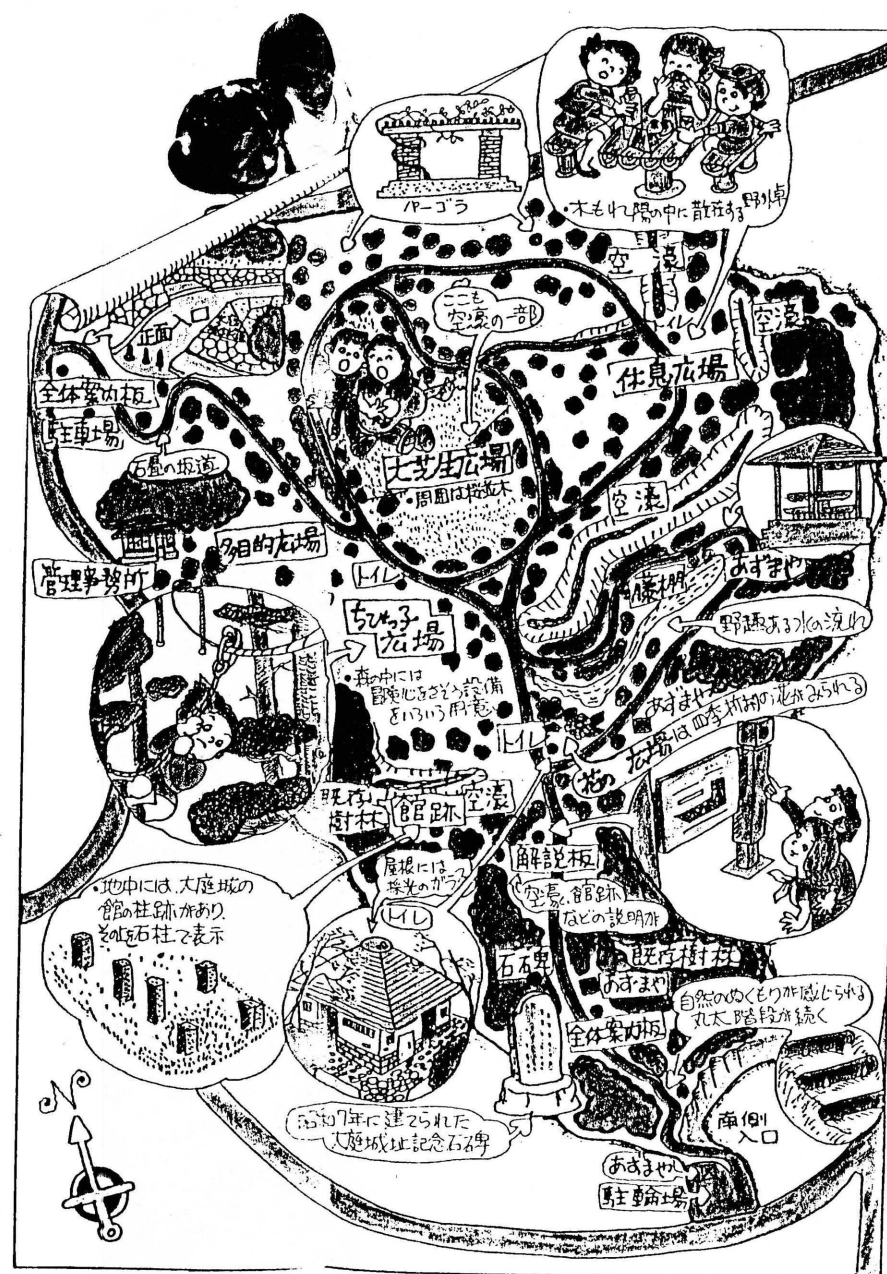


花の広場



館址広場

公園のごあんない



■ 公園の概要

この公園は、藤沢駅北西約4km、市の中心を南北に流れて相模湾にそそぐ引地川沿いの大庭の地、藤沢市西部土地区画整理事業区域内にあり、この地は古くから人々に大庭城山と呼ばれ、城址としての歴史性や、緑の山（表紙写真）として親しまれてきたものであり、その特徴を生かした広々とした大芝生広場を主体としている公園であります。

昭和53年度に都市計画決定及び事業認可を受け、昭和58年度より2カ年で整備を進めてきたもので、全体計画約11.8haの総合公園です。

主な施設としては、大芝生広場、チビツ子冒険広場、花の広場等があり、休憩所、木製遊具、藤棚、野外卓等が設置されています。

■ 施設の説明

- 大芝生広場 約2.0ha 周囲にサクラを植栽した花に囲まれた多目的広場です。東側と西側端には大規模なバーグラがあり、眺望の場としました。
- 休息広場 約0.2ha 公園の東端部に位置し奥まった安らぎのある広場で、野外卓が設置されています。
- チビツ子冒険広場 約0.5ha 城攻めを遊びのテーマとして、木製遊具を主体とした広場です。
- 花の広場 約0.6ha 花の名所として親しめるよう、四季折々の花としてウメ・サクラ・サルスベリ等を植栽、東端には江の島が一望できる展望四阿があります。
- 館址広場 約0.2ha 発掘調査で確認された掘立柱建物址周辺を館のイメージを連想できるように標示石を埋石した広場です。

「鵠沼を語る会」会員名簿

昭和61年度

	氏 名	住 所	電 話 番 号
○	有田 裕一	鵠沼海岸2-1-20	0466-36-7298
	石井 修	茅ヶ崎市西久保1544	0467-83-0804
	岩田 吉人	鵠沼海岸2-10-24	0466-36-7593
○	内田偉三男	鵠沼藤ヶ谷3-4-27	0466-23-1011
	遠藤 綱	鵠沼松が岡3-12-3	0466-26-7233
	榎本 一男	鵠沼海岸2-7-3	0466-36-7208
○	大久保和男	鵠沼花沢町5-5	0466-23-0790
	川島 弘之	本鵠沼5-5-12	0466-22-9679
	葛巻左登子	鵠沼海岸3-11-5	
	久保 尚雄	藤沢3745-5	0466-81-2901
	斉藤 功一	鵠沼海岸2-4-5	
○	佐藤 和子	鵠沼海岸1-4-3	0466-34-2156
◎	塩沢 務	鵠沼海岸3-12-33	0466-36-7876
	鈴木 太仁	柄沢255	0466-23-0012
	田中まさ子	鵠沼松が岡3-3-9	0466-22-5667
	常深 次郎	鵠沼海岸3-1-12 鵠沼海岸郵便局	0466-36-4921
○	寺田 良夫	鵠沼橋1-14-5	0466-22-2718
○	中村 孝治	鵠沼海岸1-3-2	0466-36-4591
○	花輪 桂	鵠沼花沢町9-8	0466-22-8317
	長谷川一夫	鵠沼桜が岡1-3-18	0466-22-5094
○	榛葉 昭市	本鵠沼2-19-10	0466-36-6651
●	富士 山	鵠沼松が岡3-8-26	0466-22-4056
	逸見千鶴子	鵠沼松が岡4-8-1	0466-22-3986
	持田 眞男	鵠沼桜が岡3-10-5	0466-22-7536
○	吉田 興一	辻堂6736	0466-36-6818
	大橋 円明	鵠沼神明3-3-21	、 22-9080